

「令和6年度いわて新農業人チャレンジファーム第9回研修を開催しました！」

第9回の研修は、令和6年7月5日（金）6日（土）に雫石町南畑のコテージむらで行いました。

今回の研修では、病虫害防除及び雑草対策の基本並びにブロッコリーの栽培についての講義と、実習では大玉トマトの栽培管理やピーマン、なすの仕立て及びブロッコリーの定植を行いました。

病虫害防除及び雑草対策の講義では、病害発生の3つの要因、植物に病害をもたらす病原体及び害虫の大まかな分類と農薬を使用した防除方法、さらに、畑地雑草対策方法について学びました。

受講生からは「農薬が散布された作物を食べても人に影響はないのか。」「農地用と非農地用の農薬はどのように違うのか。」など、農薬の使用についての質問が多く出るなど、農薬使用や安全性についての関心が高いようでした。

休憩を挟み、実習ではパイプハウスに移動し

て、大玉トマトのわき芽かきと薬剤散布を行いました。

梅雨期間の葉かび病対策のため、バッテリー式背負動力噴霧器を使用してカリグリーンの散布を行いました。研修指導員からは、薬剤を樹全体に散布することと葉裏までしっかりかけることを留意点として挙げました。

次に、露地ほ場において、ピーマンとなすの整枝及び誘引作業を行いました。

わき芽かきのあと、直管パイプを設置した支柱へ麻ひもを使用して誘引を行い、ピーマンは4本、なすは3本に仕立てました。誘引方法に苦戦する受講生も見受けられましたが、作業後にはピーマンとなすの草姿はとてもすっきりとし、受講生は管理作業の達成感を味わえたのではないのでしょうか。

次回の研修は、7月12日（金）に、雫石町の大規模稲作経営体及び盛岡市の新規就農された個人農場へ現地研修を行う予定です。



講義「病虫害、雑草防除の実際」についての様子



大玉トマトの脇芽かき作業を行う受講生



大玉トマトへ薬剤散布を行う受講生



ピーマン及びなすの整枝作業を行う受講生